



# ほけんだより 9月号



平成29年9月1日  
小倉すくすく保育園  
看護師 山口友恵

夏休み期間が終わり、お休み中の楽しかった思い出を話す子どもたちの会話がたくさん聞こえてきます。まだ残暑はありますが、朝夕は涼しくなってきたので、気温の変化で体調を崩さないよう気を付けましょう。



## 防災週間（8月30日～9月5日）

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。  
また、お子さまにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

おうちの中にも事故やけがを招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認をしてみましょう。

- ・子どもの手の届く場所に置いてはいけない物  
（薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かい物など）
- ・踏み台になる物はベランダに置かない
- ・コンセントなどをいたずらできないようにする
- ・遊び食べに注意する（食べ物が喉に詰まることがある）
- ・浴槽に水をためっぱなしにしない



## RSウイルス感染症

RSウイルスの感染によって起こる集団感染しやすい感染症です。毎年、10月頃から冬にかけて乳児を中心に流行しますが、今年は夏から流行のきざしとの事です。当園でも、毎年入院症例が出ている感染症です。いつもの熱、いつもの咳と過信せず、すみやかな受診としっかりと休息をとるようにしましょう。エントランスのボードにも流行している感染症を随時記載していますのでご参照ください。



## 生活リズムの見直し



夏休みシーズン中に寝る時間が遅くなったり、食事の時間が不規則になったりしていませんか？かぜを引かない強い体をつくるために生活リズムを見直しましょう。

- ・早起きをし余裕をもって、朝ご飯、歯みがき、トイレを済ませる（朝食は必ず食べましょう）
- ・シャワーだけでなく、ゆっくりとお風呂に入る
- ・早寝を心がけ睡眠をしっかりとる
- ・顔色や食欲など、普段から健康観察を細かく行う

